



令和5年度 訪問教育の概要



茨城県立境特別支援学校

○対象

- ・心身の障害等により、通学することが困難な児童生徒が訪問教育の対象となります。

○学習の方法

- ・児童生徒の住む場所に、教師が出向いて学習をします。
- ・個別や集団で学習したり、校外学習に行ったり、学校行事やスクーリングに参加したりしています。昨年度より感染症対策として、オンラインでの授業も行っています。

○在籍者

- ・今年度は、小学部0人、中学部1人、高等部7人（合計8人）が在籍しています。（令和5年5月1日現在）
- ・本校の訪問教育は、古河市にある『芳香会病院 青嵐荘療育園』という重症心身障害者施設での訪問教育を行っています。

○授業日数

- ・週3回、年間105日を標準としています。1回の学習時間は、2時間ですが、学習時間や内容については、児童生徒の心身の状況に応じて行います。

○訪問教育の年間授業時数

	小学部 1～6年	中学部 1～3年	高等部 1～3年
生活単元学習	70	70	70
自 立 活 動	140	140	140
年間時間数	210	210	210

○学習の様子（各学部の児童生徒の活動の様子 → 訪問教育をご覧ください。）

訪問教育の取り組み ～みんなの笑顔☆輝け～

訪問教育の教育目標

- 保護者や施設・医療などの関係機関と連携を図り、児童・生徒の実態や教育的ニーズを的確に把握し、個に応じた指導・支援について担当者間で共通理解を図り、学習の充実に努めます。
- 個別・小集団の学習において、人とのかかわる力を育むとともに、学習意欲を高めるICT教材や各種教材・教具の工夫に努めます。
- 学校行事や地域交流等の活動を通して、周囲の人々に気づきかかわる力を育みます。

自ら気づく力の育成

○さまざまな学習や体験を通して、「じぶんから気づく」力を育てます。

生活単元学習



行事や季節、特設単位では、グループで学習をします。

自立活動



「おんがく」「せいさく」「うんどう」の他、個別課題に応じた学習を行います。

学校行事



入学式や卒業式、運動会や文化祭などの学校行事に参加します。

動画配信



グーグル・クラスルームを活用して動画絵本を配信しています。

人とのかかわる力の育成

○さまざまな人とのかかわりを通して、社会性を身に付けられるようにします。

校外学習



近隣のスーパーマーケットで買い物学習します。



公共の施設（図書館）の利用の仕方について学習します。

地域交流



ボランティア団体の皆様と交流をします。

スクーリング



学校に登校して学習活動に参加します。